

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2025年 6月 3日

大津市長 殿

## 提出者

住 所 大阪市中央区道修町4-5-17

氏 名 株式会社森組 大阪本店

取締役常務執行役員 本店長 石井 勝則

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6222-5093

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2024 年度の産業廃棄物

処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	株式会社 森組 大阪本店
事 業 場 の 所 在 地	大阪市中央区道修町4-5-17 (大津市管轄区域内)
事 業 の 種 類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	2024年4月1日から2025年3月31日まで

## 産業廃棄物処理計画における目標値

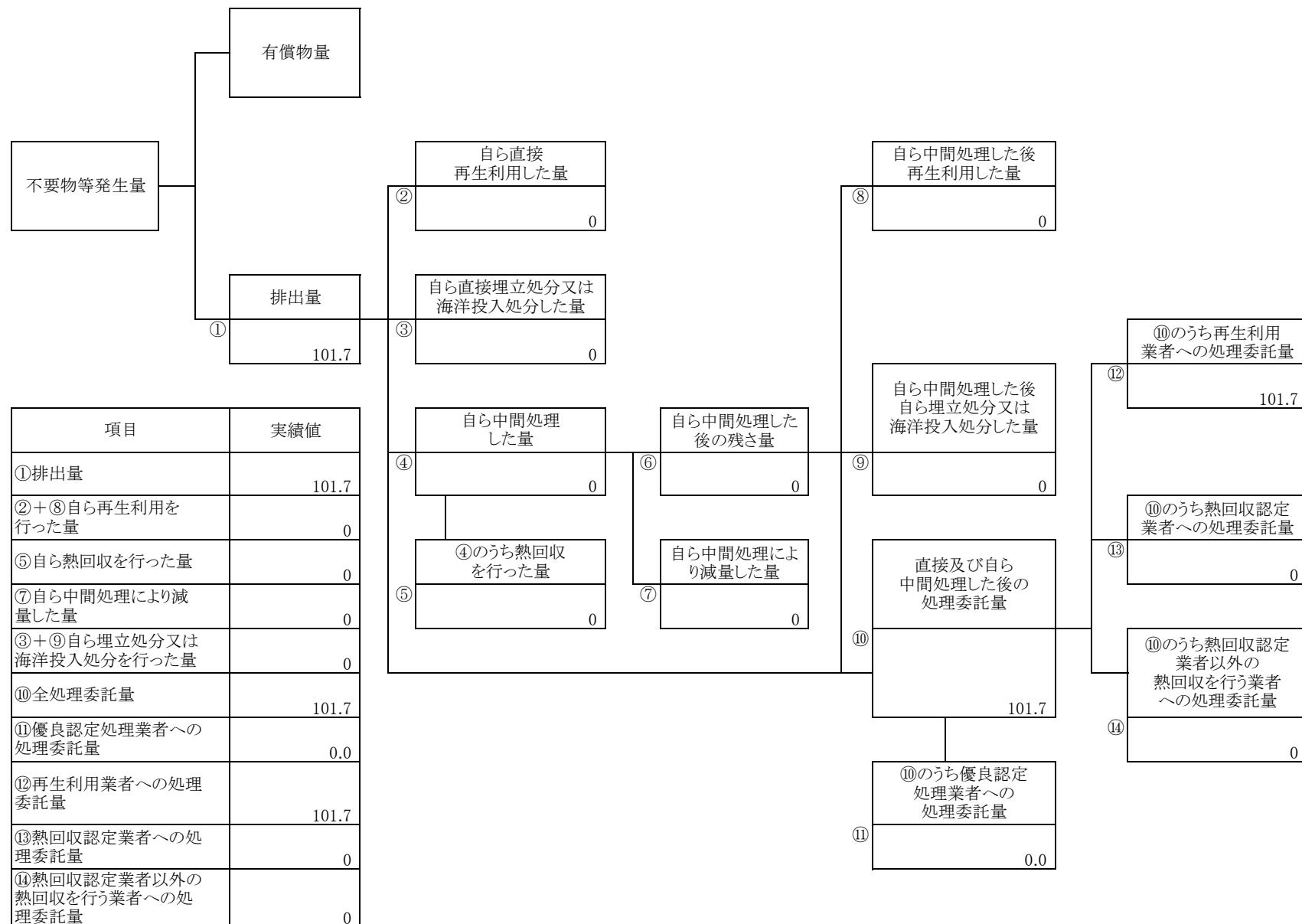
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	5155.5t	全 処 理 委 託 量	5155.5t
自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	80t
自 ら 热 回 収 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	5155.5t
自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 す る 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 埋 立 处 分 又 は 海 洋 投 入 处 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 以 外 の 热 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ① 廃プラスチック )

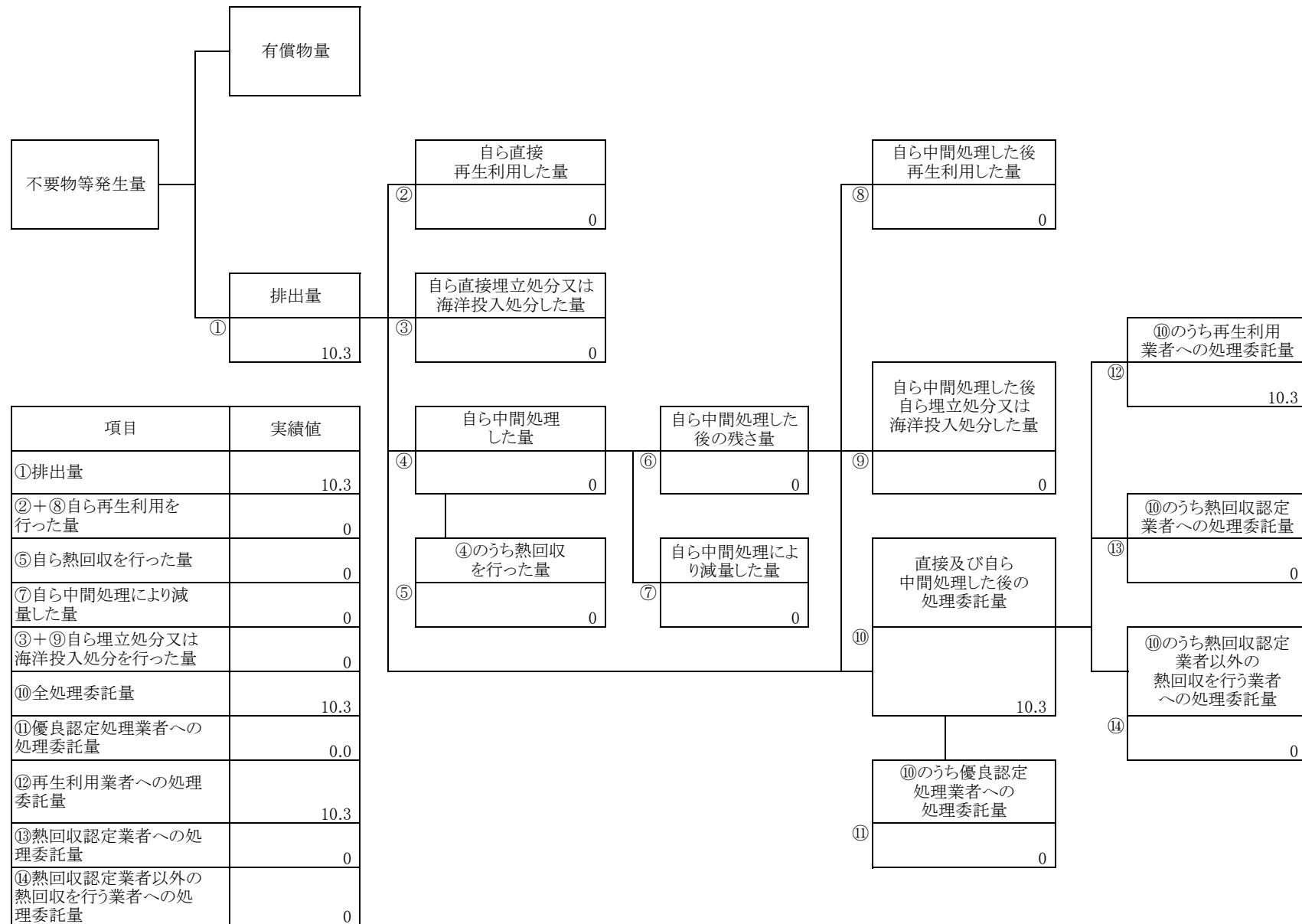
(第2面)



## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ② 紙くず )

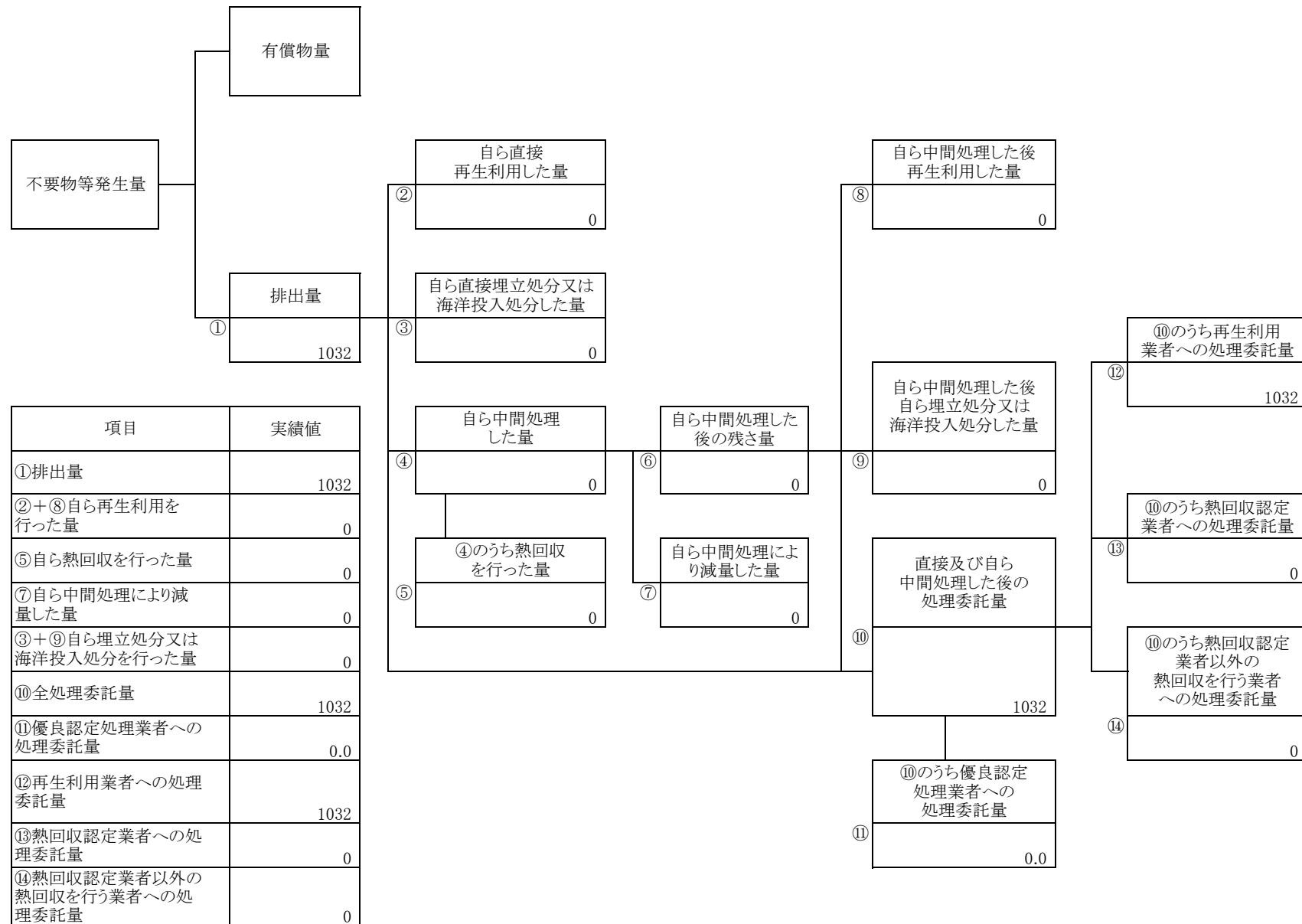
(第2面)



## 計画の実施状況

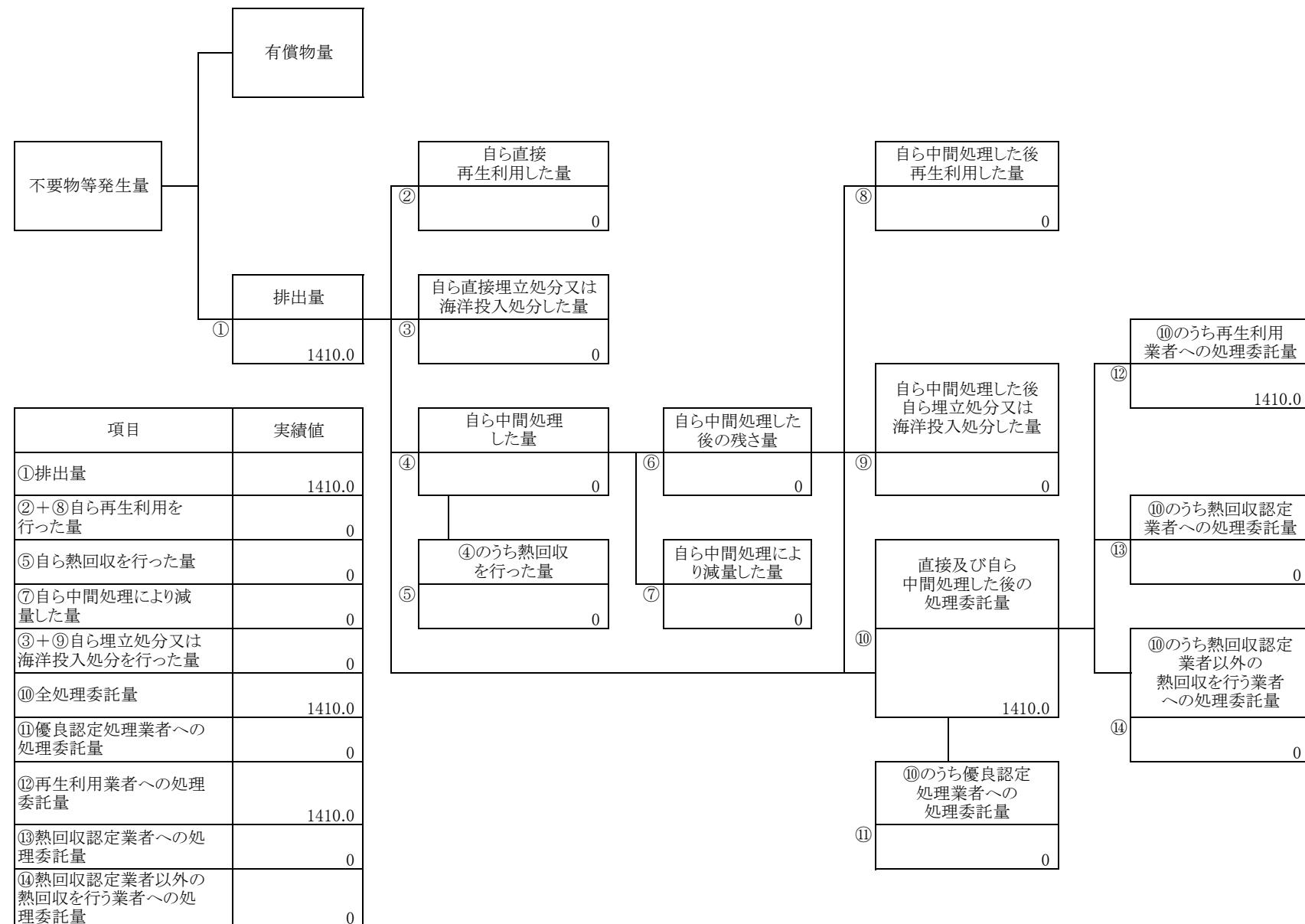
(産業廃棄物の種類: ③ 木くず )

(第2面)



## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ④ がれき類)



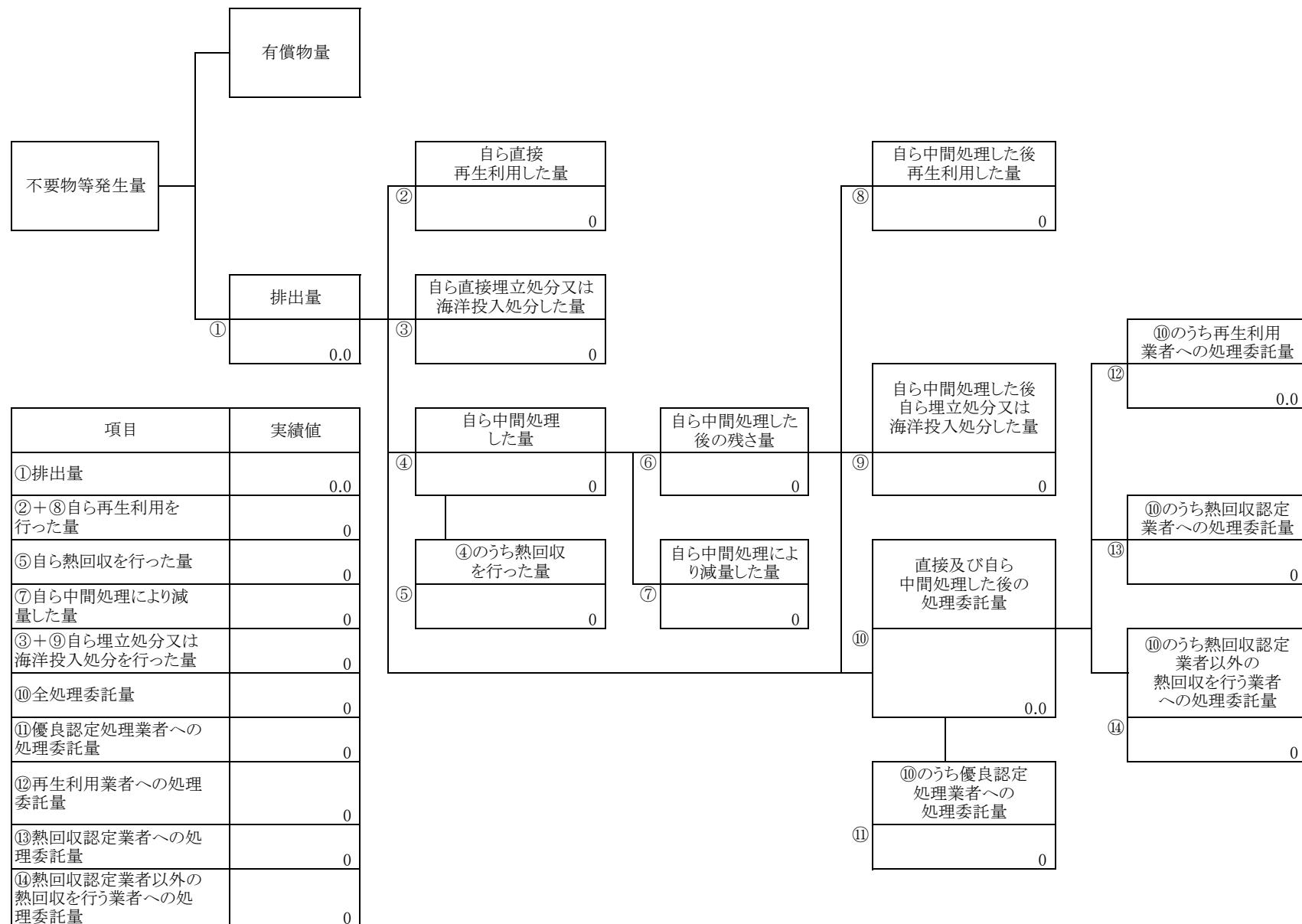
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ④

がれき類

)

(第2面)



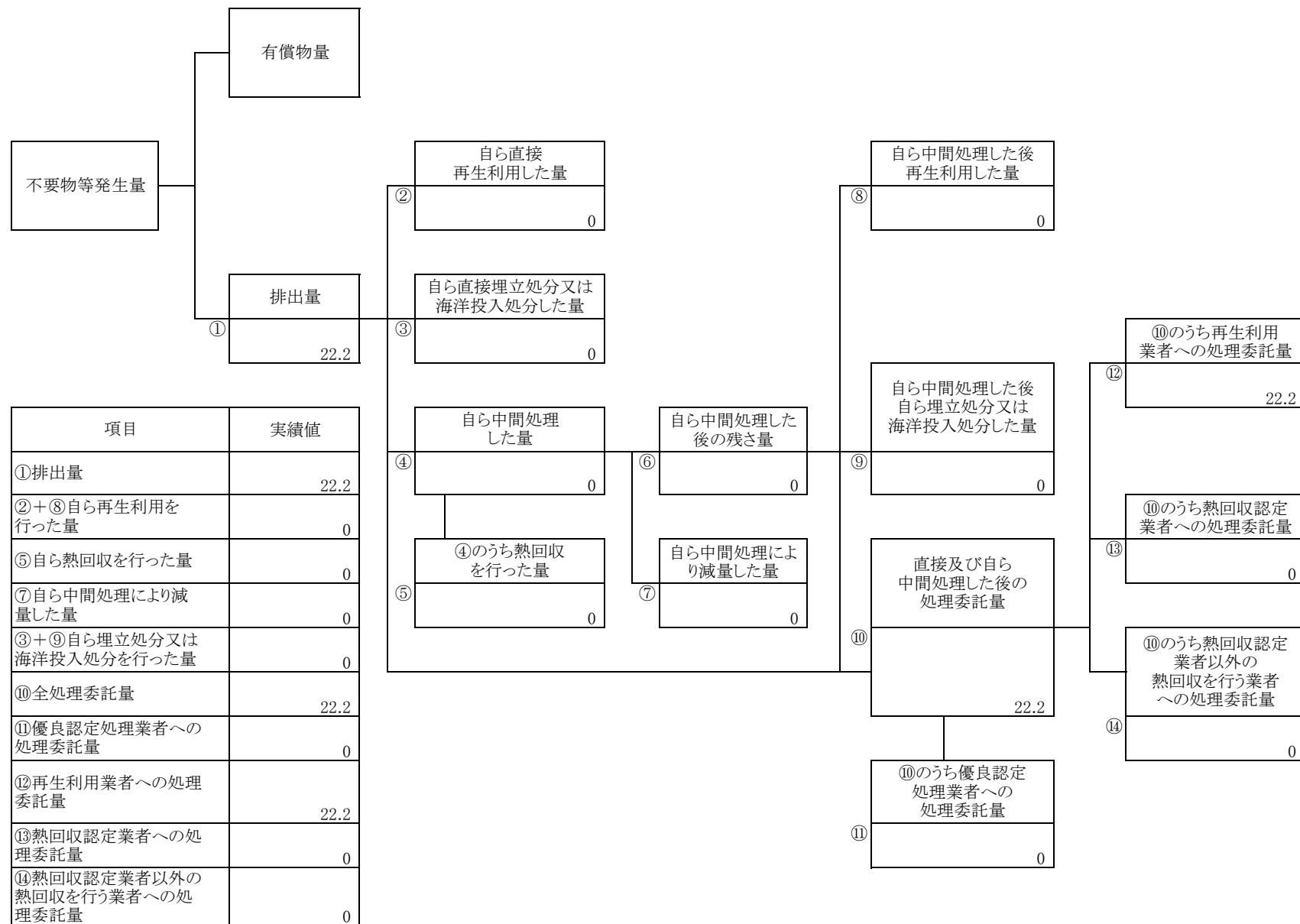
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑤

混合廃棄物

)

(第2面)



## 備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の〔別紙〕

産業廃棄物の種類		計画の実施状況												(⑨=①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧)=⑩+⑪+⑫+⑬+⑭)		⑮+⑯	⑰+⑱
コード	名称	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接処理 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理した後 した後再生利用 した量(t)	⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	委託先による区分	⑪優良認定処理業者 への処理委託量(t)	⑫自ら再生利用 を行った量(t)	⑬自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量(t)	⑭自ら再生利用 を行った量(t)	
コード参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず自ら処理又は海洋投入処分した量	①の量のうち、中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑤の量のうち、自ら利用又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑦の量のうち、認定熱回収施設設置業者の再生利用委託量(⑨、⑩除く)	⑧の量のうち、認定熱回収施設設置業者以外の処理業者への委託量	⑨の量のうち、優良認定処理業者への処理委託量	⑩の量のうち、直接熱回収を行っている処理業者への委託量	⑪の量のうち、直接熱回収を行っている処理業者への委託量	⑫の量と⑬の量を合計したもの(自動計算)	
1	① 廃プラスチック	101.7					0			101.7	101.7					0	0
2	② 紙くず	10.3					0			10.3	10.3					0	0
3	③ 木くず	1,032.1					0			1,032.1	1,032.1					0	0
4	④ がれき類	1,410					0			1,410	1,410					0	0
5	⑤ ガラス・陶磁器くず	0					0			0	0					0	0
6	⑥ 混合廃棄物	22.2					0			22.2	22.2					0	0
	合計	2,576.3	0	0	0	0	0	0	0	2,576.3	2,576.2	0	0	0	0.00	0	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力とともに、第2面も追加してください。